

(資料15) 保健医療学研究科授業時間割モデル

保健医療学研究科（修士課程・博士後期課程）授業時間割モデル

前期	修 士 課 程						博 士 後 期 課 程			
	看護学専攻	リハビリテーション科学専攻	医療技術学専攻	看護学専攻	リハビリテーション科学専攻	医療技術学専攻	保 健 医 療 学 専 攻			
	1 年			2 年			1 年	2 年	3 年	
月	1	保健医療学特論 (C105)								
	2	医療倫理学特論 (C105)								
	3	看護学研究方法論 (C221)	理学療法学研究方法論 (C222)	放射線技術学研究方法論 (C223)						
	4	地域看護学特論 (C221)	義肢装具学研究方法論 (C222)	臨床工学研究方法論 (C223)						
	5							研究開発基盤研究 (C106)		
火	1	看護倫理学特論 (C221)	リハビリテーション学特論 (C222)	医療情報学特論 (C223)						
	2	ヘルスプロモーション特論 (C221)	生活活動支援学特論 (C222)	放射線科学特論 (C223)						
	3								保健医療学特別研究 (C106)	
	4								大学教育実践研究 (C106)	
	5				看護学演習 (C221)	理学療法学演習 (C222)	義肢装具学演習 (C105)	臨床工学演習 (C223)	放射線技術学演習 (C106)	
水	1	リハビリテーション看護学特論 (C221)	医療情報学特論 (C222)	医用生体工学特論 (C223)						
	2	看護教育学特論 (C221)	理学療法学特論 (C222)	臨床医学特論 (C223)						
	3								保健医療学基盤研究 (C106)	
	4								保健医療学特別研究 (C106)	
	5				看護学特別研究 (C221)	理学療法学特別研究 (C222)	義肢装具学特別研究 (C105)	臨床工学特別研究 (C223)	放射線技術学特別研究 (C106)	
木	1	看護技術学特論 (C221)	義肢装具学動作分析特論 (C222)	診療画像技術学特論 (C223)						
	2	成人看護学特論 (C221)		核医学検査技術学特論 (C223)						
	3	母子看護学特論 (C221)								
	4								保健医療学研究倫理 (C106)	
	5								大学教育基盤研究 (C106)	
金	1								保健医療学特殊研究 I II III IV V (C105・106・221・222・223)	
	2								研究開発実践研究 (C106)	
	3									保健医療学特別研究 (C106)
	4	老年看護学特論 (C221)								
	5	看護学特別研究 (C221)	理学療法学特別研究 (C222)	義肢装具学特別研究 (C105)	臨床工学特別研究 (C223)	放射線技術学特別研究 (C106)				

保健医療学研究科（修士課程・博士後期課程）授業時間割モデル

後期	修 士 課 程						博 士 後 期 課 程				
	看護学専攻	リハビリテーション科学専攻	医療技術学専攻	看護学専攻	リハビリテーション科学専攻	医療技術学専攻	保 健 医 療 学 専 攻				
	1 年			2 年			1 年	2 年	3 年		
月	1	健康管理学特論 (C105)									
	2	医療安全学特論 (C105)									
	3							保健医療学研究方法 (C106)			
	4							保健医療学特別研究 (C106)			
	5				看護学特別研究 (C221)	理学療法学特別研究 (C222)	義肢装具学特別研究 (C105)	臨床工学特別研究 (C223)	放射線技術学特別研究 (C106)		
火	1	感染看護学特論 (C221)	リハビリテーション工学特論 (C222)	医療マネジメント特論 (C223)							
	2	看護管理学特論 (C221)	リハビリテーション医学特論 (C222)	医療統計学特論 (C223)							
	3										
	4							保健医療学特殊研究 I II III IV V (C105・106・221・222・223)			
	5										
水	1	看護技術学特論 (C221)	理学療法評価学特論 (C222)	医用機器学特論 (C223)							
	2	成人看護学特論 (C221)	理学療法治療学特論 (C222)	生体機能代行技術学特論 (C223)							
	3	母子看護学特論 (C221)		医用安全管理学特論 (C223)							
	4										
	5										
木	1	老年看護学特論 (C221)	義肢装具学特論 (C222)	放射線治療技術学特論 (C223)							
	2	地域看護学特論 (C221)	応用義肢装具学特論 (C222)	医用画像情報学特論 (C223)							
	3			放射線安全管理学特論 (C223)							
	4									保健医療学特別研究 (C106)	
	5										
金	1							研究開発実践研究 (C106)			
	2							大学教育実践研究 (C106)			
	3								保健医療学特別研究 (C106)		
	4	看護学演習 (8回) (C221)	理学療法学演習 (8回) (C222)	義肢装具学演習 (8回) (C105)	臨床工学演習 (8回) (C223)	放射線技術学演習 (8回) (C106)					
	5	看護学特別研究 (C221)	理学療法学特別研究 (C222)	義肢装具学特別研究 (C105)	臨床工学特別研究 (C223)	放射線技術学特別研究 (C106)					

(資料16) 保健医療学研究科

電子リソース・学術雑誌 一覧

保健医療学研究科 電子リソース・学術雑誌一覧

(1) データベース

No.	名称
1	医中誌 WEB
2	今日の診療 Web 版
3	日経BP 記事検索サービス
4	エルゼビア サイエンスダイレクト
5	JDreamⅢ
6	道新記事検索
7	最新看護検索 Web

(2) 電子ジャーナル

No.	タイトル	出版社
1	メディカルオンライン	メテオ
2	日経BP 記事検索サービス	日経BP 社
3	Advances in Nursing Science	Lippincott William & Wilkins, Wolters Kulwe
4	Cancer Nursing	Lippincott William & Wilkins, Wolters Kulwe
5	Journal of Gerontological Nursing (FTE 251-3,000)	Slack
6	Ovid Journal of Neuroscience Nursing	Wolters Kluwer
7	SD Complete Collection Journal of Obstetric, Gynecologic & Neonatal Nursing (including Nursing for Women's Health)	Elsevia
8	Ovid Nursing Research	Wolters Kluwer
9	SD Complete Collection American Journal of Infection Control	Elsevia
10	Ovid American Journal of Physical Medicine & Rehabilitation	Wolters Kluwer
11	Applied Physiology, Nutrition, and Metabolism	Canadian Science Publishing (NCR Research Press)
12	Clinical Rehabilitation	Sage

No.	タイトル	出版社
13	Disability and Rehabilitation: Assistive Technology	Informa Healthcare
14	Ovid International Journal of Rehabilitation Research	Lippincott William & Wilkins, Wolters Kluwer
15	Ovid Topics in Geriatric Rehabilitation	Wolters Kluwer
16	Ovid JPO: Journal of Prosthetics & Orthotics	Wolters Kluwer
17	Applied and Environmental Microbiology	American Society of Microbiology
18	IEEE: Transaction: Biomedical Engineering (T-BME)	Institute of Electrical & Electronics Engineering
19	Medical & Biological Engineering & Computing (Incorporating Journal of Cellular Engineering)	Springer Nature
20	Australasian Physical & Engineering Sciences in Medicine	Springer Nature
21	Radiology	Radiological Society of North America
22	Radiation Protection Dosimetry	Oxford University Press
23	Physics in Medicine and Biology	IOP Publishing
24	Journal of the American Medical Informatics Association	Oxford University Press
25	SD Complete Collection Journal of Environmental Radioactivity	Elsevia
26	Wiley Journal of Advanced Nursing	Wiley
27	Wiley Journal of Clinical Nursing	Wiley
28	Wiley Journal of midwifery & women's health	Wiley
29	Wiley Architectural Design	Wiley
30	Wiley Bioelectromagnetics	Wiley
31	Wiley Psychophysiology	Wiley
32	Wiley Magnetic Resonance in Medicine	Wiley
33	SpringerLink Value Collection Journal of Occupational Rehabilitation	SpringerNature
34	SpringerLink Value Collection American Journal of Roentgenology	SpringerNature
35	SpringerLink Value Collection European Journal of Nuclear Medicine and Molecular Imaging	SpringerNature

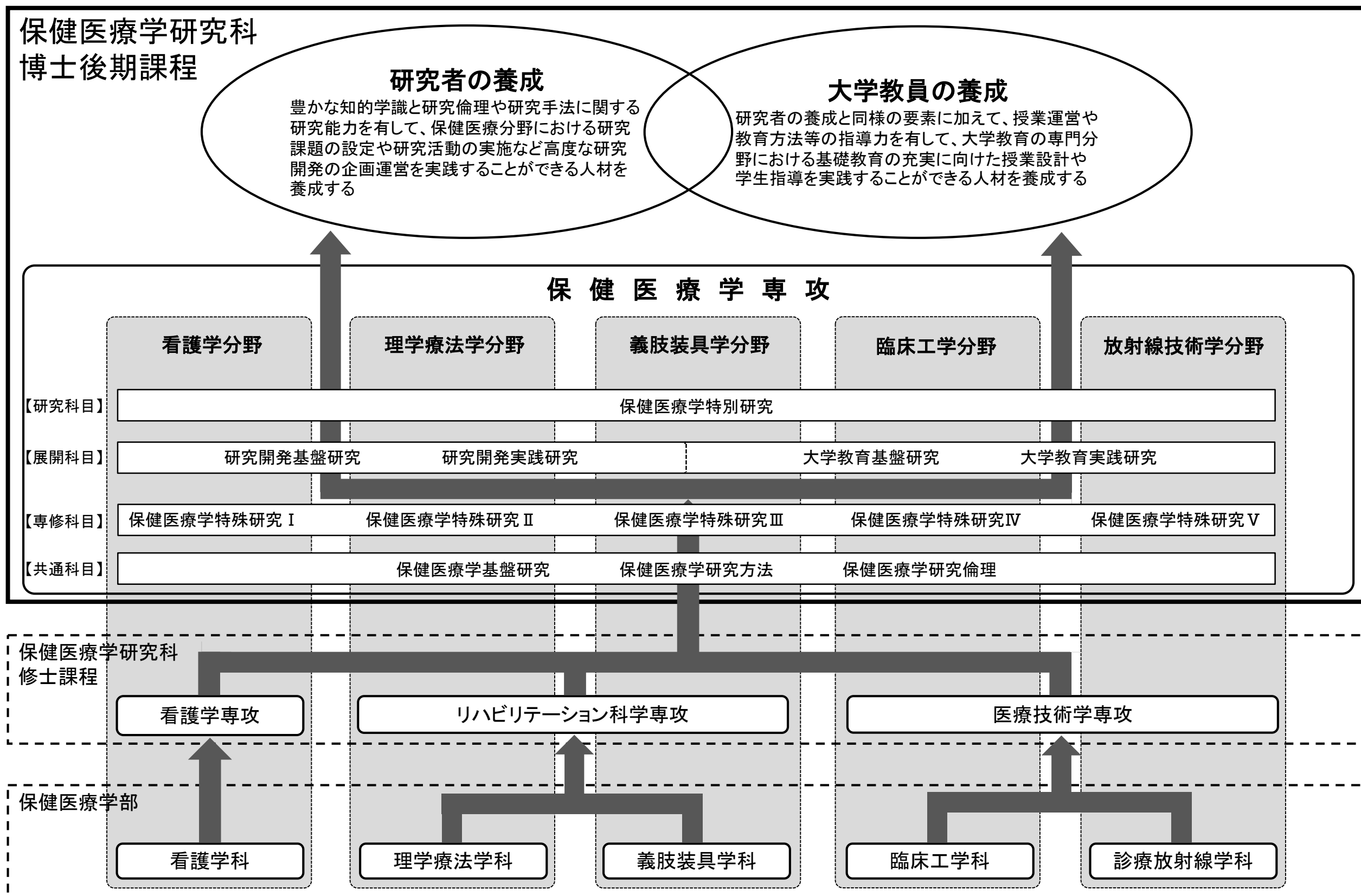
(3) 学術雑誌

No.	タイトル	出版社
1	Prosthetics and Orthotics International	International Society for Prosthetics and Orthotics
2	電子情報通信学会技術研究報告. MBE, ME とバイオサイバネティックス	電子情報通信学会
3	電子情報通信学会技術研究報告 EMCJ 環境電磁工学	電子情報通信学会
4	Expert nurse	照林社
5	臨床看護記録	日総研出版
6	がん看護	南江堂
7	看護学生	メヂカルフレンド社
8	看護技術	メヂカルフレンド社
9	看護実践の科学	看護の科学社
10	看護展望	メヂカルフレンド社
11	緩和ケア	青海社
12	クリニカルスタディ	メヂカルフレンド社
13	小児看護	へるす出版
14	日本看護科学会誌	日本看護科学学会
15	臨床老年看護	日総研出版
16	看護教育	医学書院
17	看護研究	医学書院
18	助産雑誌	医学書院
19	精神看護	医学書院
20	訪問看護と介護	医学書院
21	保健師ジャーナル	医学書院
22	総合リハビリテーション	医学書院
23	理学療法ジャーナル	医学書院
24	臨床検査	医学書院
25	検査と技術	医学書院

No.	タイトル	出版社
26	理学療法	メディカルプレス
27	Monthly Book Medical Rehabilitation	全日本病院出版会
28	Clinical Rehabilitation	医歯薬出版
29	日本義肢装具学会誌	日本義肢装具学会
30	RE : rehabilitation engineering	日本リハビリテーション工学協会
31	P0 アカデミージャーナル（日本義肢装具士協会誌）	日本義肢装具士協会
32	Clinical engineering	学研メディカル秀潤社
33	透析ケア	メディカ出版
34	生体医工学	日本生体医工学会
35	呼吸器ケア	メディカ出版
36	HEART nursing	メディカ出版
37	癌の臨床	医歯薬出版
38	Medical Technology	医歯薬出版
39	臨床画像	メジカルビュー社
40	臨床放射線	金原出版
41	新医療	エムイー振興協会
42	インナービジョン	インナービジョン
43	Rad fan	メディカルアイ

(資料17) 基礎となる修士課程及び学部との関係図

基礎となる修士課程及び学部との関係図



(資料18) アドミッション・ポリシー

保健医療学専攻 アドミッション・ポリシー

① 基本方針

看護学分野、理学療法学分野、義肢装具学分野、臨床工学分野、放射線技術学分野のいずれかの領域における豊かな学識を基礎として、学術研究を担う能力を有して、現代社会が直面する保健医療分野の諸課題を多角的に分析し、専門分野における問題解決に向けた理論や実践を開発することのできる研究者、及び授業運営や教育方法等の指導力を有して、大学教育の専門分野における基礎教育の充実に向けた授業設計や学生指導を実践することができる教育者を養成します。
 そのために、各領域の修士課程を修了した者又は研究機関や医療現場等において実践を積んだ職業人を受入れ、教育機会の拡大と多様な学生の受入れに積極的に対応します。

② 求める人材像と学力の3要素

求める人材像	知識 技能	思考力 判断力 表現力	主体性 多様性 協働性
研究者又は大学教員に対する強い志望動機と職業意欲を有している人	◎	○	△
専攻分野に関する基礎的な研究能力と高度な専門知識を有している人	◎	○	△
物事を多面的かつ論理的に考察でき、適切に判断することができる人	△	◎	○
自分の考えを的確に表現でき、相手に確実に伝達することができる人	△	○	◎

③ 学力の3要素と求める学習成果

学力の3要素	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性・多様性・協働性
知識・技能	→ 学力試験	→ 成績証明書	→ 口述試験
思考力・判断力・表現力	→ 学力試験	→ 口述試験	→ 研究計画書
主体性・多様性・協働性	→ 業務経歴書	→ 口述試験	→ 研究計画書
			→ 研究業績

④ 求める学習成果と入学者選抜方法

入学者選抜方法	学力試験	成績 証明書	業務 経歴書	口述 試験	研究 計画書	研究業績 リスト
一般入試	◎	○	—	◎	○	○
社会人入試	—	○	○	◎	◎	◎

⑤ 入学前に習得すべき内容・水準

- 看護学分野、理学療法学分野、義肢装具学分野、臨床工学分野、放射線技術学分野いずれかの分野における修士課程修了レベルの専門知識及び技能
- 学術論文を読み解くために必要な英語読解力
- データ処理、論文作成に必要なコンピュータリテラシー

※ 記号(◎, ○, △)は重要度の順序を表しています。

(資料19) 管理運営に関する規程類

- ・北海道科学大学企画運営会議規程
- ・意思決定のプロセス
- ・学内委員会一覧

北海道科学大学企画運営会議規程

(目 的)

第1条 この規程は、北海道科学大学組織規程第18条に基づき、学長の諮問機関として必要な事項を定める。

(組 織)

第2条 企画運営会議は、次の各号に掲げる者をもって構成する。

- (1) 学長
- (2) 副学長
- (3) 学部長
- (4) 大学改革推進室長
- (5) 全学共通教育部長
- (6) 学生支援センター長、就職支援センター長、入試広報センター長、
研究推進・地域連携センター長、学術情報センター長
- (7) 事務局長
- (8) 総務部長、財務部長、学務部長、入試・地域連携部長

2 前項の規定にかかわらず、学長が必要と認めたときは、前項以外の者を加えることができる。

(任 期)

第3条 前条第1項に掲げる者の任期は、その職の在任期間とする。

(審議事項)

第4条 企画運営会議は、次の事項を審議する。

- (1) 教育課程の編成、運営に関する事項
- (2) 管理、運営全般に関する事項
- (3) 将来計画（事業計画、業務計画を含む）に関する事項
- (4) 人事に関する事項
- (5) 財務計画に関する事項
- (6) 予算審議に関する事項
- (7) 国外研修及び長期国内研修に関する事項
- (8) その他必要と認める事項

(会 議)

第5条 会議は、毎月1回の開催を定例とする。ただし、学長が必要と認めたときはこの限りではない。

2 学長は会議を招集し、その議長となる。ただし、学長事故あるときは、あらかじめ学長の指名した者がこれを代行する。

(記 録)

第6条 会議の議事録は、総務課長が作成し、議長が確認後、総務部長の管理のもとに総務課長がこれを保管する。

(規程の改廃)

第7条 この規程の改廃は、企画運営会議の議を経て学長が決定する。

付 則

1 この規程は、平成27年4月1日から施行する。

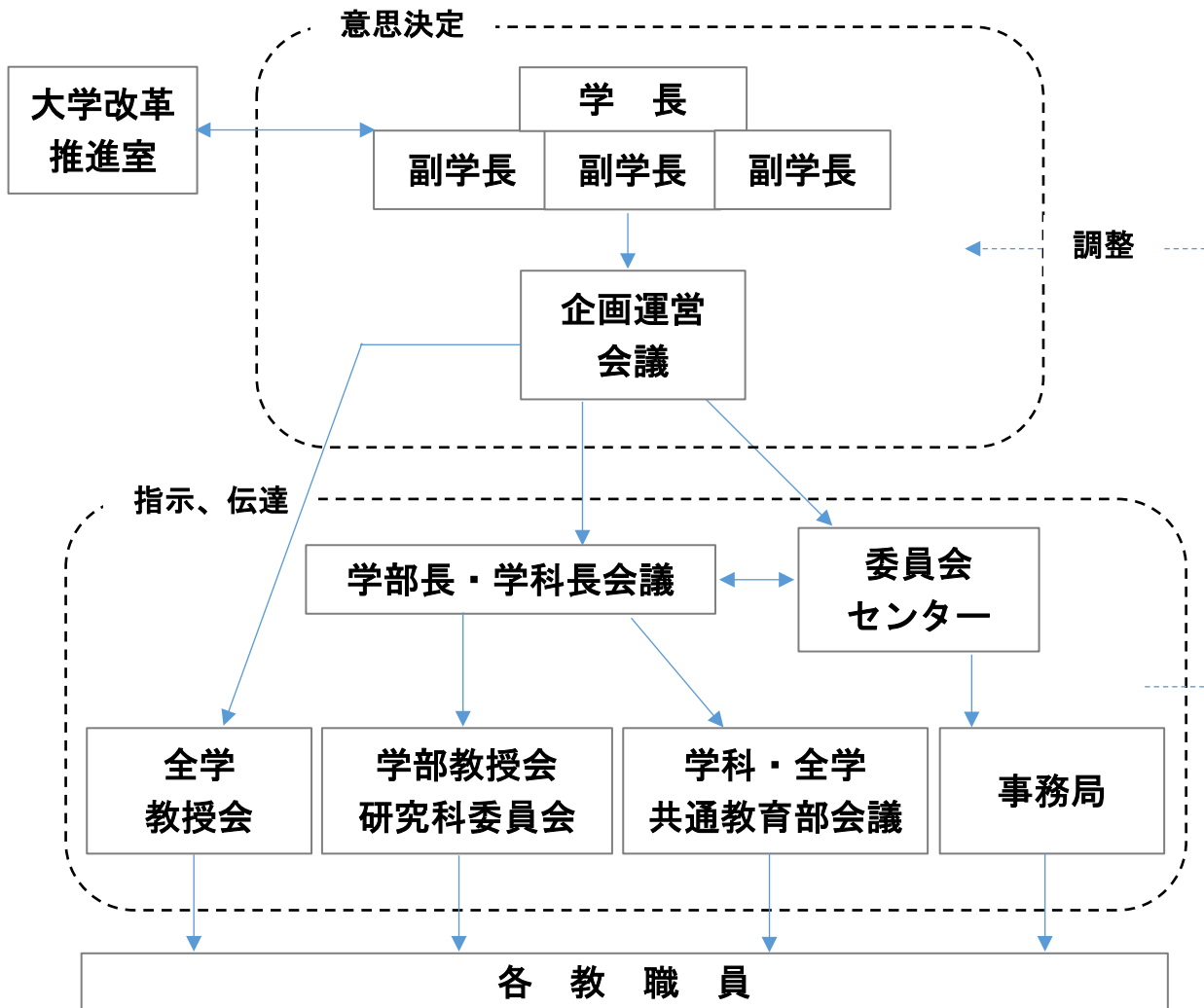
この規程の施行に伴い、「北海道科学大学評議会規程」は廃止する。

1 この規程の改正は、平成29年4月1日から施行する。

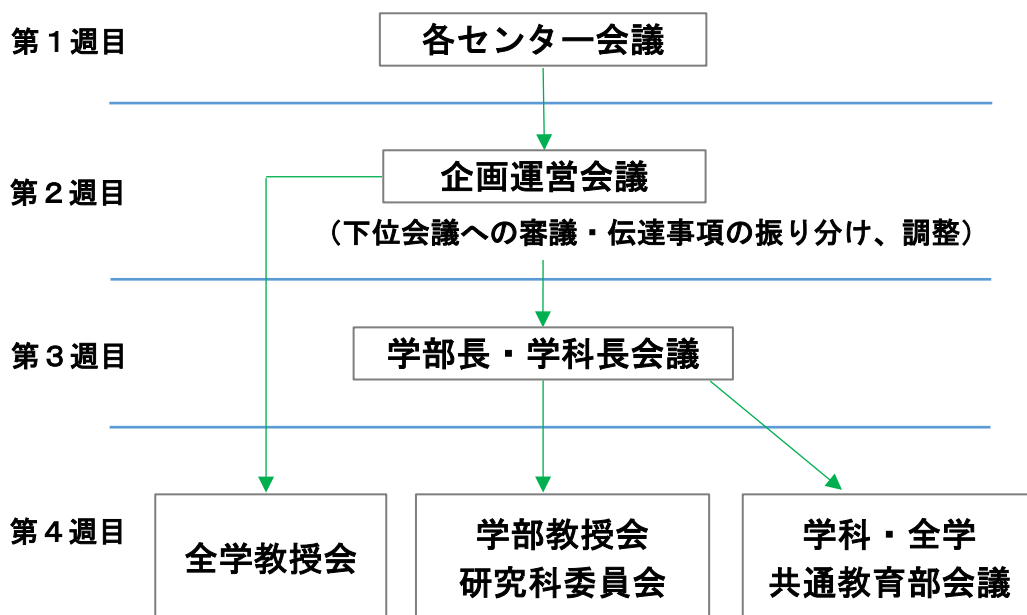
1 この規程の改正は、平成30年4月1日から施行する。

1 この規程の改正は、平成32年4月1日から施行する。

意思決定のプロセス



<各会議の開催時期と意思決定、指示・伝達の流れ>



学内委員会一覧

カテゴリ	委員会名
コンプライアンス上 必要な委員会	危機管理委員会
	人権委員会
	衛生委員会
	個人情報保護委員会
	個人情報苦情対応委員会
	倫理委員会
	動物実験委員会
	組換えDNA実験安全委員会
	防火・防災管理対策委員会
	放射線安全管理委員会
	公的研究費内部監査委員会
	研究活動不正対策委員会
	利益相反マネジメント委員会
点検・評価機関	自己点検・評価委員会
	自己点検IR委員会
	外部評価委員会
教育・研究関係	発明判定会
	FD委員会
	教職課程委員会
	研究紀要委員会
	高大連携教育推進委員会
	研究推進委員会
環境活動関係	環境マネジメント推進委員会
	内部環境監査委員会
その他	国際交流委員会
	出版会（出版会編集委員会・出版会運営委員会）
薬学部関係	薬学部薬剤師国家試験委員会
	薬学部薬学実務実習委員会
	薬学部薬学共用試験委員会
	薬学部薬学教育評価委員会
保健医療学部関係	保健医療学部教育経費委員会
	保健医療学部臨地実習運営委員会
短期大学部関係	短期大学部自己点検・評価委員会
	短期大学部FD委員会
	短期大学部自動車整備士養成施設委員会
	短期大学部授業料減免学生選考委員会
付属施設の管理運営	実験動物研究施設運営委員会
	薬用植物園運営委員会

カテゴリ	委員会名
付属機関の 下部組織	大学改革推進室 教員業務・業績委員会
	学生支援センター 教務委員会 クラス担任委員会 日本学生支援機構奨学金返還免除候補者選考委員会 短期大学部学生支援委員会 短期大学部 I R 推進委員会
	就職支援センター 就職委員会 短期大学部就職委員会
	入試広報センター 入試広報委員会 入学試験出題・採点委員会 入試制度検討委員会 短期大学部入試広報委員会
	研究推進・地域連携センター 寒地未来生活環境研究所 寒地先端材料研究所 北方地域社会研究所 北の高齢社会アクティブライフ研究所 全自動X線分析システム運営委員会 電子プローブマイクロアナライザー装置運営委員会 自然雪風洞装置運営委員会 共同実験棟（R2棟）管理運営委員会 C O C + 推進委員会 薬学部共通機器運営委員会
	学術情報センター 図書館運営委員会
	薬剤師生涯学習センター 薬剤師生涯学習センター運営委員会 生涯学習認定薬剤師評価委員会 薬剤師生涯学習企画委員会

(資料20) 自己点検・評価に関する規程

- ・北海道科学大学自己点検・評価規程
- ・北海道科学大学自己点検 I R 委員会規程
- ・北海道科学大学外部評価委員会規程

北海道科学大学自己点検・評価規程

(趣 旨)

第1条 この規程は、北海道科学大学（以下「本学」という。）学則第2条の規定に基づき、本学の教育、研究、社会貢献等の質的向上を図り、大学運営全般の改善・改革に資するため、教育研究、組織運営、施設設備等の総合的な状況に対する自己点検・評価並びにその結果に対する認証評価機関による評価の受審に関し、必要な事項を定める。

(自己点検・評価委員会)

第2条 本学に、自己点検・評価及び認証評価機関による評価のための統括的組織として、北海道科学大学自己点検・評価委員会（以下「委員会」という。）を置く。

(自己点検 I R 委員会)

第3条 委員会に、委員会の求めに応じ自己点検・評価のための情報収集、整理を支援するとともに、教学 I R 活動を行う自己点検 I R 委員会を置く。

2 自己点検 I R 委員会の運営に関し必要な事項は、別に定める。

(組 織)

第4条 委員会は、次の各号に掲げる者をもって構成する。

(1) 学長

(2) 副学長

(3) 自己点検 I R 委員会委員長、同副委員長

(4) 学部長、大学改革推進室長、全学共通教育部長、センター長

(5) 事務局長、総務部長、財務部長、学務部長、入試・地域連携部長

(委 員 長)

第5条 委員会に委員長をおき、学長をもってあてる。

2 委員長は、委員会を招集し、その議長となる。

3 委員長は、必要とみとめた場合は第4条に掲げた者以外の者の出席を求めることができる。

(会議の成立要件)

第6条 委員会は、委員の3分の2以上の出席がなければ、議事を開くことができない。

(自己点検・評価事項等)

第7条 自己点検・評価は次の各号に掲げる事項について行う。

(1) 使命・目的及び教育目的に関すること

(2) 学生の受入れに関すること

(3) 学生の支援に関すること

(4) 学修環境及び教育研究等の環境に関すること

(5) 教育課程の編成及び学修成果に関する全学的な方針の検証・評価に関すること

(6) 教育研究組織及び研究支援に関すること

(7) 教員・教員組織及び職員に関すること

(8) 大学運営及び財務に関すること

(9) 内部質保証に関すること

(10) 社会連携・社会貢献に関すること

(11) その他、委員会が必要と認める事項に関すること

(自己点検・評価の実施)

第8条 3年ごとに前条の各号に定める全ての事項に関し自己点検・評価を行う。

2 6年ごとに自己点検・評価結果について認証評価機関による評価を受ける。

(結果の公表)

第9条 自己点検・評価結果を報告書にまとめ公表するとともに、自己点検・評価結果に対する認証評価機関による評価の受審結果についてもホームページ等により公表する。

(結果の活用)

第10条 学長は、前条の自己点検・評価結果に基づき、全学的に改善が必要と認められるものについては、その改善策の検討を大学改革推進室に指示し、改善策の遂行を監視するものとする。

2 学長は、専攻、学科、全学共通教育部、大学改革推進室、センター及び委員会の各組織において改善が必要と認められるものについては、当該組織に改善策の検討と実行を指示し、その経過及び結果の監督・検証に努めるものとする。

3 学長は、前2項の監視・検証結果を、大学改革推進室、専攻、学科、全学共通教育部及びセンターが立案する諸計画の策定に反映させるものとする。

(委員等の職責)

第11条 委員会委員及び自己点検・評価に関係するすべての者は、本委員会の活動の対象となる職員及び学生の基本的な人権を損なうことのないように努めるとともに、職員の人事に関する記録及び学生の学業成績その他職務上知り得た秘密を漏らしてはならない。

(庶務)

第12条 委員会の庶務は、総務課がこれにあたる。

(規程の改廃)

第13条 この規程の改廃は、教授会の議を経て学長が決定する。

付 則

1 この規程は、平成5年10月29日から施行する。

1 この規程の改正は、平成10年4月1日から施行する。

1 この規程の改正は、平成19年4月1日から施行する。

1 この規程の改正は、平成21年4月1日から施行する。

1 この規程の改正は、平成22年4月1日から施行する。

1 この規程の改正は、平成24年4月1日から施行する。

1 この規程の改正は、平成26年4月1日から施行する。

1 この規程の改正は、平成27年4月1日から施行する。

1 この規程の改正は、平成28年4月1日から施行する。

1 この規程の改正は、平成29年4月1日から施行する。

1 この規程の改正は、平成30年4月1日から施行する。

1 この規程の改正は、平成31年4月1日から施行する。

1 この規程の改正は、平成32年4月1日から施行する。

北海道科学大学自己点検 I R 委員会規程

(目 的)

第1条 この規程は、北海道科学大学自己点検・評価規程第3条第2項に基づき、自己点検 I R 委員会（以下、「委員会」という。）の運営について必要な事項を定めることを目的とする。

(教学 I R 活動の定義)

第2条 北海道科学大学（以下「本学」という。）では、教学 I R 活動の内容を以下のように定める。

「本学の教学体制の改善サイクルを推進するため、学内各部署で作成された教学情報を収集・活用することに加え、学生調査や外部試験など学生の能力成長に関わる情報の収集・分析を行い、教学に関する自己点検・評価の際に学修成果の客観的情報を提供する活動」を教学 I R 活動と定義する。

(組 織)

第3条 委員会は、次に掲げる者をもって構成する。

(1) 委員長 学長が指名するもの

(2) 副委員長 同 上

(3) 委 員

ア 学科及び全学共通教育部の状況を掌握し得るために学長が指名する複数の教員

イ 総務課長、教務課長、情報技術課長及び入試課長

(任 務)

第4条 委員会は、教学 I R 活動の定義に基づき、次の事項についての諸活動を行う。

(1) 教学に関する情報及び学生の能力成長に関わる情報の収集、分析、提供による教学に関する自己点検・評価の支援

(2) 自己点検・評価のために必要なデータの収集・分析、及び自己点検・評価過程の調整

(3) I R 活動の推進と大学の意思決定の支援のために必要となる業務及びその研究

(任 期)

第5条 第3条第1項に掲げる者の任期は2年とする。ただし、再任を妨げない。

2 欠員により補充された場合の任期は、前任者の残任期間とする。

(会 議)

第6条 委員長は、必要に応じ委員会を招集し、その議長となる。

2 委員長事故あるときは、副委員長が議長の職務を代行する。

3 議長は、必要と認めた場合は、第2条に掲げた者以外の者の出席を求めることができる。

(報 告)

第7条 委員長は、委員会の会議内容を自己点検・評価委員会委員長に報告しなければならない。

(委員等の職責)

第8条 委員会に参加する者は、本委員会の活動の対象となる職員及び学生の基本的な人権を損なうことのないように努めるとともに、職員の人事に関する記録及び学生の学業成績その他

職務上知り得た秘密を漏らしてはならない。

(庶務)

第9条 委員会の庶務は、総務課がこれにあたる。

2 会議の議事録は、委員長の指名する者が作成し、議長が確認後、総務課長が保管する。

(規程の改廃)

第10条 この規程の改廃は、教授会の議を経て学長が決定する。

付 則

1 この規程は、平成28年4月1日から施行する。

この規程の施行に伴い、「北海道科学大学自己点検・評価委員会幹事会規程」(平成19年4月1日施行)は廃止する。

1 この規程の改正は、平成29年4月1日から施行する。

1 この規程の改正は、平成30年4月1日から施行する。

1 この規程の改正は、平成31年4月1日から施行する。

1 この規程の改正は、平成32年4月1日から施行する。

北海道科学大学外部評価委員会規程

(目 的)

第1条 この規程は、北海道科学大学（以下「本学」という。）組織規程第21条に基づき、北海道科学大学自己点検・評価委員会の連携委員会としての北海道科学大学外部評価委員会（以下「委員会」という。）について必要な事項を定めることを目的とする。

(組 織)

第2条 委員会は、次の各号に掲げる領域の学外者で、人格見識が高く、かつ本学の発展に理解ある者の中から、学長が委嘱する概ね5名の委員をもって構成する。

- (1) 教育研究分野に精通した教育研究機関に携わる者
- (2) 教育研究分野に精通した行政に携わる者
- (3) 本学卒業生の中から北海道の産業界の産業動向に精通した者
- (4) その他本学の運営に関し、広くかつ高い見識を有する者

(委 員 長)

第3条 委員会に委員長を置き、委員の互選により選出する。

(任 期)

第4条 第2条に掲げる者の任期は2年とする。ただし、再任は妨げない。

2 欠員により補充された者の任期は、前任者の残任期間とする。

(審議事項)

第5条 委員会は、次の事項について審議する。

- (1) 本学が行った自己点検・評価報告書等について助言等を行う。
- (2) 随時本学の教育・研究の改善に関する助言等を行う。

(会 議)

第6条 学長の要請によって委員長は、委員会を招集し、その議長となる。

2 委員会は、委員全員の出席をもって成立することを原則とする。但し、止むを得ず欠席する場合は自己点検・評価報告に対する意見・提言書の提出を持って代えることができる。

3 委員長に事故あるときは、あらかじめ指名された委員がその職務を代行する。

4 委員長が必要と認めるときは、大学関係者を出席させ資料等に関する説明を求めることができる。

(庶 務)

第7条 委員会の庶務は、総務課がこれにあたる。

(規程の改廃)

第8条 この規程の改廃は、教授会の議を経て学長が決定する。

付 則

- 1 この規程は、平成26年4月1日から施行する。
- 1 この規程の改正は、平成29年4月1日から施行する。
- 1 この規程の改正は、平成30年4月1日から施行する。
- 1 この規程の改正は、平成32年4月1日から施行する。

(資料21) 教職員への研修等に関する規程類

- ・ 北海道科学大学ファカルティ・
ディベロップメント規程
- ・ 平成30年度 F D 研修実施状況一覧
- ・ 学校法人北海道科学大学スタッフ・
ディベロップメント規程
- ・ 平成30年度 S D 研修実施状況一覧

北海道科学大学ファカルティ・ディベロップメント規程

(趣 旨)

第1条 この規程は、北海道科学大学学則第13条及び北海道科学大学大学院学則第24条の規定に基づき、ファカルティ・ディベロップメント（以下「FD」という。）を推進するために必要な事項を定める。

(FD委員会)

第2条 本学に、FDのための総括的組織として、北海道科学大学FD委員会（以下「委員会」という。）を置く。

(組 織)

第3条 委員会は、次に掲げる者をもって構成する。

(1) 委員長 副学長

(2) 副委員長 学生支援センター副センター長（教務担当）

(3) 委員

ア 各学科及び全学共通教育部から学長が指名する者 各1名

イ 自己点検IR委員会委員長

ウ 教務課長

(任 期)

第4条 前条において役職によって指名される者の任期は、その職の在任期間とする。

2 前条において学長の指名する者の任期は2年とする。ただし、再任は妨げない。

3 欠員により補充された場合の任期は、前任者の残任期間とする。

(臨時委員)

第5条 委員長は、必要と認めた場合は、本学学生や学外の者に対して臨時委員を委嘱することができる。

2 臨時委員の任期は1年以内とし、再任は妨げない。

3 臨時委員の任務はその都度定め、委嘱時に伝達するものとする。

(任 務)

第6条 委員会は、次の事項について組織的教育力の向上、教育の質保証に資する諸活動を行う。

(1) 授業及び研究指導の内容及び方法改善のための調査、研究及び支援

(2) 全学的FDの計画立案と実施に関すること

(3) 教育組織ごとに実施されたFD活動の結果集約とその発表に関すること

(4) 授業改善のためのアンケートに関すること

(5) FDのための組織体制に関すること

(6) その他組織的教育活動に必要と認められる事項

(会 議)

第7条 委員長は、必要に応じ委員会を招集し、その議長となる。

2 委員長事故あるときは、あらかじめ指名された委員が議長の職務を代行する。

3 委員長は、必要と認めた場合は、第3条に掲げた者以外の者の出席を求めることができる。

(報 告)

第8条 委員長は、委員会で審議された事項を学長に報告するものとする。

(庶 務)

第9条 委員会の庶務は、教務課がこれにあたる。

2 会議の議事録は、委員長の指名する者が作成し、議長が確認後、教務課長が保管する。

(規程の改廃)

第10条 この規程の改廃は、教授会の議を経て学長が決定する。

附 則

1 この規程は、平成22年4月1日から施行する。

この規程の施行により、「北海道工業大学ファカルティ・ディベロップメント委員会規程」は、これを廃止する。

1 この規程の改正は、平成24年4月1日から施行する。

1 この規程の改正は、平成26年4月1日から施行する。

1 この規程の改正は、平成27年4月1日から施行する。

1 この規程の改正は、平成28年4月1日から施行する。

1 この規程の改正は、平成30年4月1日から施行する。

1 この規程の改正は、平成30年4月1日から施行する。

1 この規程の改正は、平成31年4月1日から施行する。

1 この規程の改正は、平成32年4月1日から施行する。

平成30年度 FD研修実施状況一覧

No.	実施部署	実施日	実施テーマ	参加者	備考
1	人間社会学科	平成30年4月25日	H30年度卒業研究について	学科教員8名	
2	臨床工学科	平成30年4月26日	臨床実習の履修要件と国家試験受験資格の取得について	学科教員10名	
3	都市環境学科	平成30年5月10日	平成29年度入学生の学力試験結果から見た指導上でのポイント(入学後1年経過時のモニタリング)	学科教員7名	
4	建築学専攻	平成30年5月14日	授業改善アンケート結果に関する点検・評価	専攻教員11名	
5	建築学科	平成30年5月14日	授業改善アンケート結果に関する点検・評価	学科教員11名	
6	工学部・看護学科合同	平成30年5月28日	工学と看護学の連携を目指す第一歩	工学部教員38名 看護学科教員15名	
7	建築学科	平成30年5月29日	H30年度入学生の教育課程に対する道内企業からの意見	学科教員12名	
8	都市環境学科	平成30年5月29日	平成30年度入学生の学力試験結果から見た指導上でのポイント	学科教員4名	
9	薬学教育開発支援室	平成30年6月21日	坪和幸治講師 授業参観ならびにフィードバックを通じた授業改善の検討	薬学教育開発支援室 教員4名	
10	診療放射線学科	平成30年6月22日	平成30年度前期授業公開について	学科教員10名	
11	義肢装具学科	平成30年6月27日	授業公開の参観記録に基づく、授業の改善に関して	学科教員10名	
12	臨床工学科	平成30年6月28日	今年度の本学科OSCEについて	学科教員10名	
13	看護学科	平成30年6月29日	H30年度前期授業参観における評価の共有	学科教員11名	
14	薬学部 (薬剤師国家試験委員会)	平成30年7月2日	国家試験合格に導く学生指導	学部教員49名	
15	建築学科	平成30年7月3日	授業公開・参観の結果を踏まえた授業改善について	学科教員10名	
16	診療放射線学科	平成30年7月11日	第63回全国診療放射線技師教育施設協議会について	学科教員11名	
17	薬学教育開発・支援室	平成30年7月17日	新任教員次年度担当予定科目の授業(薬事関連法制論Ⅱ)の見学および検討会	薬学教育開発支援室 教員5名	
18	電気電子工学専攻 (兼電気電子工学科)	平成30年7月20日	H30年度 大学院中間発表ポスター展示の閲覧及びコアタイムでの質疑討論	専攻・学科教員11名	
19	メディアデザイン学科	平成30年7月24日	H29年度後期科目等の授業改善アンケート結果に関する点検・評価	学科教員5名	
20	電気電子工学科	平成30年7月26日	H30年度前期授業公開 参観を終えて	学科教員12名	
21	都市環境学科	平成30年7月26日	平成29年度前期 授業公開・参観結果について	学科教員7名	
22	臨床工学科	平成30年7月26日	本学科OSCEの再試験について	学科教員9名	
23	人間社会学科	平成30年7月26日	2018年度前期 授業公開・参観実施の結果に関する分析	学科教員8名	
24	メディアデザイン学科	平成30年7月31日	平成30年度前期授業参観について	学科教員9名	
25	臨床工学科	平成30年8月6日	今年度の病院見学(1年生)について	学科教員10名	
26	都市環境学科	平成30年8月31日	平成30年度入学生のPROGデータ及び前期履修状況	学科教員9名	
27	FD委員会	平成30年8月31日	Moodle利用講習会	合計74名(全教職員 413名)	
28	電気電子工学科	平成30年8月31日	新入生学力調査・1年生PROG結果報告	学科教員11名	
29	電気電子工学科	平成30年8月31日	授業改善アンケート結果に関する点検(H29後期、H30前期)について	学科教員11名	
30	理学療法学科	平成30年8月31日	授業参観結果及び授業改善アンケート結果に関する点検・評価	学科教員11名	
31	都市環境学科	平成30年9月5日	学科教育自己点検会議(カリキュラム点検)への準備について	学科教員6名	

No.	実施部署	実施日	実施テーマ	参加者	備考
32	薬学教育開発・支援室	平成30年9月12日	山岸文洋教授 授業参観並びにフィードバックを通じた授業改善の検討	薬学教育開発支援室 教員5名	
33	情報工学科	平成30年9月12日	学科教員と学生FD委員による授業改善のための意見交換	学科教員2名 学生FD委員3名	
34	電気電子工学科	平成30年9月13日	1年生の電気回路系科目について	学科教員7名	
35	メディアデザイン学科	平成30年9月18日	学科教育自己点検会議について	学科教員6名	
36	メディアデザイン学科	平成30年9月18日	今年度前期の授業改善アンケートについて	学科教員3名 学生FD委員3名	
37	看護学科	平成30年9月21日	学生による授業改善に向けた検討会	学科教員2名 学生FD委員3名	
38	看護学科	平成30年9月21日	コア・カリキュラム施行に向けた検討会の報告	学科教員31名	
39	都市環境学科	平成30年9月26日	授業改善のための学生FD委員からの意見聴取	学科教員2名 学生FD委員2名	
40	情報工学科	平成30年9月26日	PROG2018 3年生の2016年度1年次との比較および2018年度と2017年度1年生の比較	学科教員10名	
41	情報工学科	平成30年9月26日	2018年度前期授業公開の参観結果について	学科教員10名	
42	自動車工学科	平成30年9月26日	授業改善のための学生FD委員からの意見聴取 ～授業アンケート結果及び教員コメントへの提言～	学科教員2名 学生FD委員1名	
43	情報工学科	平成30年9月26日	ITスキルアセスメントテストの実施について	学科教員11名	
44	建築学科	平成30年9月27日	前期の授業改善のアンケート結果に関する学生との意見交換	学科教員1名 学生FD委員3名	
45	人間社会学科	平成30年9月27日	人間社会学科における授業改善を図る制度的取組	学科教員2名 学生FD委員4名	
46	薬学教育開発・支援室	平成30年9月27日	授業改善を目的とした学生FD委員インタビュー	学科教員2名 学生FD委員4名	
47	機械工学科	平成30年9月27日	学生FD委員が参加した学科FD(授業改善を図る制度的取組)	学科教員2名 学生FD委員3名	
48	自動車工学科	平成30年9月27日	アセスメントポリシーを踏まえた成績評価の実施について ～平成29年度学業成績の分析から～	学科教員10名 職員3名	
49	電気電子工学科	平成30年9月27日	授業改善を図る制度的取組	学科教員2名 学生FD委員3名	
50	自動車工学科	平成30年9月27日	授業改善のための学生FD委員からの意見聴取 ～授業アンケート結果及び教員コメントへの提言～	学科教員2名 学生FD委員1名	
51	義肢装具学科	平成30年9月27日	授業改善を図る制度的取組に関し、学生FD委員に対する調査	学科教員2名 学生FD委員3名	
52	薬学部	平成30年9月28日	平成30年度CBT体験受験結果に基づく4年次学生の学習指導	学部教員63名	
53	臨床工学科	平成30年9月28日	授業改善を図る制度的取組	学科教員2名 学生FD委員3名	
54	FD委員会	平成30年9月28日	3つのポリシーの実質化を目指した組織的な教育改善の取り組みについて	合計160名(全教職員 413名)	全学FD・SD 講演会
55	薬学科	平成30年9月28日	平成30年度アドミッションポリシーの確認、および平成29年度カリキュラム点検	学科教員64名	
56	全学共通教育部	平成30年9月28日	基盤能力養成科目「人間の理解」「社会の理解」「他者理解と信頼関係」「自己 管理と社会規範」の自己点検レポートについて	学科教員14名	
57	診療放射線学科	平成30年9月28日	平成30年度前期授業改善アンケートについて	学科教員2名 学生FD委員3名	
58	理学療法学科	平成30年9月29日	学生FD委員による授業評価	学科教員2名 学生FD委員3名	
59	メディアデザイン学科	平成30年10月2日	授業支援システムMoodleについて	学科教員9名	
60	看護学科	平成30年11月9日	シラバス執筆と査読・点検に関する注意について	学科教員31名	
61	電気電子工学科	平成30年11月9日	シラバス執筆と査読・点検に関する注意について	学科教員10名	
62	情報工学科	平成30年11月12日	シラバス作成方法について	学科教員11名	
63	メディアデザイン学科	平成30年11月20日	シラバス執筆と査読・点検に関する注意について	学科教員6名	

No.	実施部署	実施日	実施テーマ	参加者	備考
64	薬学科	平成30年11月20日	機能形態学Ⅱの授業参観および授業内容に関する検討会(情報共有・フィードバック)	学科教員6名	
65	工学専攻	平成30年11月21日	平成30年度前期授業改善アンケート結果について	専攻教員24名	
66	薬学科	平成30年11月22日	構造解析学の授業参観および授業内容に関する検討会(情報共有・フィードバック)	学科教員5名	
67	薬学科	平成30年11月26日	有機化学Ⅰの授業参観および授業内容に関する検討会(情報共有・フィードバック)	学科教員6名	
68	全学共通教育部	平成30年11月26日	基本教育科目のシラバス作成と点検要領について	学科教員13名	
69	都市環境学科	平成30年11月29日	学科教育自己点検会議(シラバス点検)の実施について	学科教員9名	
70	都市環境学専攻	平成30年11月29日	都市環境学専攻教育自己点検会議(シラバス点検)の実施について	専攻教員7名	
71	機械工学科	平成30年12月5日	フレッシュマンセミナー(1年前期科目)におけるフレッシュマンコンテスト実施報告	学科教員15名	
72	情報工学科	平成30年12月10日	新カリキュラムの授業設計と科目間連携について	学科教員8名	
73	建築学科	平成30年12月11日	後期の授業公開・参観の結果報告と今後の業務改善について	学科教員11名	
74	人間社会学科	平成30年12月20日	2018年度後期 授業公開・参観実施の結果に関する分析	学科教員8名	
75	薬学科	平成30年12月21日	平成30年度講義授業参観に基づく指導方法の改善	学科教員61名	
76	薬学科	平成30年12月21日	平成30年度卒業研究アンケートに基づく指導方法の改善	学科教員61名	
77	電気電子工学科	平成30年12月25日	2018年度 後期 授業公開・参観を終えて	学科教員8名	
78	看護学科	平成31年1月7日	H30年度後期参観における評価の共有	学科教員11名	
79	メディアデザイン学科	平成31年1月8日	平成30年度後期授業参観について	学科教員10名	
80	FD委員会	平成31年1月10日	平成29年度学長裁量経費採択者による報告	合計129名(全教職員412名)	全学FD・SD講演会
81	都市環境学科	平成31年1月10日	平成30年度後期 授業公開・参観結果について	学科教員5名	
82	診療放射線学科	平成31年1月15日	平成30年度後期授業公開について	学科教員12名	
83	全学共通教育部	平成31年1月25日	基盤能力養成科目「人間の理解」「社会の理解」「他者理解と信頼関係」「自己管理と社会規範」における問題点と改善策について	学科教員14名	
84	情報工学科	平成31年2月12日	2018年度後期授業公開の参観結果について	学科教員11名	
85	人間社会学科	平成31年2月14日	卒業研究のありかたについて	学科教員8名	
86	都市環境学科	平成31年2月25日	学科長による学科教育自己点検報告会について	学科教員8名	

学校法人北海道科学大学スタッフ・ディベロップメント規程

(目的)

第1条 この規程は、学校法人北海道科学大学就業規則第95条に基づき、本法人の職員のうち大学及び短期大学（以下「大学等」という。）の業務に従事する職員に対するスタッフ・ディベロップメント（以下「SD」という。）を推進するために必要な事項を定めることを目的とする。

(SDの定義)

第2条 この規程におけるSDとは、「大学等の教育研究活動等の適切かつ効果的な運営を図るため、職員を対象とした必要な知識及び技能を習得させ、並びにその能力及び資質を向上させるための活動（ファカルティ・ディベロップメントに関する活動を除く）」をいう。なお、職員には、事務職員だけでなく、教育職員及び技術職員を含むものとする。

(SD活動)

第3条 前条のSDに係る活動は、次に掲げる事項とする。

- (1) 大学等の管理運営及び教育研究支援に必要な知識及び技能を身に付け、能力及び資質の向上を図るための研修に関する事
- (2) 建学の精神（3つのポリシーを含む）に照らした大学等の取組の自己点検・評価と内部質保証、及び大学等の改革に資する研修に関する事
- (3) 職員として求められているリーダーシップ能力、マネジメント能力、プレゼンテーション能力、コミュニケーション能力、危機管理能力、政策提案・実現能力、問題解決能力及び事務処理能力等の向上を図るための研修に関する事
- (4) 学生の人間形成を図るために行われる正課外の諸活動における様々な指導、援助等の研修に関する事
- (5) 職員のスキルアップに役立つ資格取得に関する事
- (6) 大学組織における業務の見直しや事務処理の改善等に関する事
- (7) その他SD活動として必要と認める事項

(検討機関)

第4条 前条各号の運営は総務部人事課が行い、常任理事会の議を経て実施するものとする。

2 研修等の策定及び実施にあたり、専門部会を置くことができるものとする。

(研修会等)

第5条 研修会等は、外部団体が主催して行う「学外研修会等」と大学等が独自に企画して開催する「学内研修会等」に大別し、さらに、これら学内外の研修会等を次のとおり区分して職員の派遣、テーマ等を検討する。

- (1) 階層別 新任職員、中堅職員、指導的職員など、経験や役職（職階）に応じて必要な知識を得るための研修会等
- (2) 目的別 特定の知識・技能を修得するための研修会等
- (3) 業務別 業務ごとの質的向上や改善等に役立つための研修会等
- (4) 個別 職員個々が自主的に自己啓発、スキルアップ等を図るための研修会等

(自己研鑽費助成)

第6条 事務職員に対して、SDの一環として行う自己研鑽に対する費用を助成する。

2 自己研鑽費助成に関し必要な事項は別に定める。

(規程の改廃)

第7条 この規程の改廃は、常任理事会の議を経て理事長が決定する。

附 則

この規程は、平成28年8月19日から施行し、平成28年4月1日から適用する。

この規程は、平成29年4月1日から施行する。

この規程は、平成30年7月3日から施行する。

この規程は、平成32年4月1日から施行する。

平成30年度 SD研修実施状況一覧

No.	実施部署	実施日	実施テーマ	参加者	備考
1	FD委員会	平成30年4月3日	平成30年度 新任教職員研修会	教員17名、職員22名、 (内新任教職員31名)	全学FD・SD 講演会
2	未来デザイン学部	平成30年4月4日	未来デザイン学部の現状について	学部教員17名	
3	都市環境学科	平成30年4月5日	前期ガイダンスにおける学生指導について(2年、4年)	学科教員8名	
4	電気電子工学科	平成30年4月20日	2017年度就職状況の総括および2018年度活動方針・予定	学科教員9名	
5	情報工学科	平成30年4月23日	情報工学科3年生に対する就活指導のための事前調査結果について	学科教員11名	
6	都市環境学科	平成30年4月26日	近年の都市環境学科の退学者の状況	学科教員6名	
7	未来デザイン学部	平成30年4月27日	未来デザイン学部の入試広報活動について	学部教員15名	
8	機械工学科	平成30年5月9日	H29年度就職活動に関する意識調査結果のまとめについて	学科教員12名	
9	人間社会学科	平成30年5月10日	学科FDの実施責任者としての開催について	学科教員6名	
10	電気電子工学科	平成30年5月11日	2017年度入試広報活動の総括、入学者分析、2018年度の活動方針・予定について	学科教員13名	
11	未来デザイン学部	平成30年5月24日	未来デザイン学部の就職支援の状況について	学部教員17名	
12	研究推進・地域連携センター	平成30年5月30日	①私大職員のための大学におけるマーケティングと広報・募集の実践講座 受講 ②明治大学博物館/森美術館/国立科学博物館/東京大学 視察 報告	研究推進・地域連携センター教職員21名	
13	情報工学科	平成30年6月25日	2017年度「入学前教育プログラム」実施結果報告について	学科教員11名	
14	FD委員会	平成30年6月27日	教育の質の保証と情報公開	合計171名(全教職員 413名)	全学FD・SD 講演会
15	事務局	平成30年6月27日	私大協道支部初任者研修会の報告	職員72名	
16	未来デザイン学部	平成30年6月29日	2018年度大学改革推進室のプロジェクトについて	学部教員11名	
17	メディアデザイン学科	平成30年7月3日	学力を考慮した就職指導について	学科教員7名	
18	メディアデザイン学科	平成30年7月17日	メディアデザイン学科1年生のプロファイリング	学科教員9名	
19	FD委員会	平成30年7月19日	薬学から学ぶ大学運営	合計198名(全教職員 413名)	全学FD・SD 講演会
20	未来デザイン学部	平成30年7月27日	研究推進・地域連携センターの活動について	学部教員16名	
21	メディアデザイン学科	平成30年7月31日	メディアデザイン学科2年生のプロファイリング	学科教員9名	
22	事務局	平成30年8月23日	外部講師による講演 テーマ『ハンデを武器にする極意』	教員11名 職員72名	
23	人間社会学科	平成30年8月24日	人間社会学科4専攻体制の検証	学科教員9名 オブザーバー1名	
24	研究推進・地域連携センター	平成30年8月28日	「地域貢献とは？」を考える、信州大学他学外視察に係る報告	研究推進・地域連携センター教職員19名	
25	都市環境学科	平成30年8月31日	都市環境学科における就職指導(H30年度公務員試験合格状況)	学科教員9名	
26	薬学部	平成30年8月31日	薬学研究における不正防止	学部教員60名	
27	理学療法学科	平成30年8月31日	第70回北海道公衆衛生学会の概要について	学科教員11名	
28	事務局	平成30年9月13日	ハラスメント防止について	教員13名 職員54名	
29	看護学科	平成30年9月21日	研究指導をするための査読力の向上を目指して	学科教員31名	
30	建築学科	平成30年9月25日	学生募集および就職に関する学科対策の検討	学科教員12名	
31	研究推進・地域連携センター	平成30年9月26日	イノベーション・ジャパン2018出展報告・次年度に向けての検討	研究推進・地域連携センター教職員18名	

No.	実施部署	実施日	実施テーマ	参加者	備考
32	全学共通教育部	平成30年9月28日	教育学系学会への参加、発表、及び論文の投稿について	学科教員14名	
33	事務局	平成30年10月17日	事務職員研修の報告	職員69名	
34	事務局	平成30年11月14日	事務職員研修の報告	職員60名	
35	FD委員会	平成30年11月15日	私学における大学改革とガバナンス	合計166名(全教職員413名)	全学FD・SD講演会
36	学生支援センター	平成30年12月5日	平成30年度 日本私立大学協会 大学教務部課長相当者研修会の報告	学生支援センター教職員24名	
37	事務局	平成30年12月12日	事務職員研修の報告	職員51名	
38	FD委員会	平成30年12月13日	災害に備えて	合計135名(全教職員413名)	全学FD・SD講演会
39	建築学科	平成30年12月18日	一級建築士受験資格の変更に伴う学科対応の方針について	学科教員10名	
40	建築学専攻	平成30年12月18日	建築士法改正に対する建築学専攻の対応について	学科教員10名	
41	研究推進・地域連携センター	平成30年12月26日	「目利き人材育成研修 研究推進マネジメントコース」に参加して(報告)	研究推進・地域連携センター教職員22名	
42	都市環境学科	平成31年2月7日	技術士一次試験の受験状況について、公務員試験の合格状況について	学科教員10名	
43	人間社会学科	平成31年2月14日	転学科試験の対応について	学科教員8名	